

薬学研究科

学位プログラム： 生命医科学の社会実装プログラム（創成薬学）

授与する学位： 修士（薬科学）、博士（薬科学）

教育目標

大阪大学及び薬学研究科の教育目標のもと、学位プログラム「生命医科学の社会実装プログラム」では、下記のような人材および能力の育成に取り組んでいます。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

（博士前期課程）

- ・有機化学、生物化学、物理化学などの幅広く深い知識を基盤として、さらに生命科学、創薬科学、社会・環境衛生薬学等の薬学専門分野における卓越した「創薬基盤技術力」を養成します。

（博士後期課程）

- ・有機化学、生物化学、物理化学などの幅広く深い知識を基盤として、さらに生命科学、創薬科学、社会・環境衛生薬学等の薬学専門分野における卓越した「創薬基盤技術力」を修得し、創薬基礎研究者として次世代の「ものづくり（創薬）」を担うことができる資質・能力を養成します。

○高度な教養

（博士前期課程）

- ・人類が直面する健康・福祉・医療に関わる地球規模課題問題の解決に向けて、主導的かつ意欲的に取り組むことができる薬学領域の深い知識と複眼的・俯瞰的な思考力を養成します。
- ・創造性あふれる豊かな人間性と卓越したリーダーシップ、強い使命感、優れた倫理観を涵養します。

（博士後期課程）

- ・人類が直面する健康・福祉・医療に関わる地球規模課題問題の解決に向けて、主導的かつ意欲的に取り組むことができる薬学領域の深い知識と複眼的・俯瞰的な思考力を養成します。
- ・創造性あふれる豊かな人間性と卓越したリーダーシップ、課題問題の解決を主導する強い使命感、指導的研究者としての優れた倫理観を涵養します。
- ・地球規模課題の解決を指導的な立場で推進できる資質・能力を養成します。

○高度な国際性

（博士前期課程）

- ・将来、研究、教育、行政等において指導的立場で国際的に活躍するために必要な、世界の異文化社会を俯瞰し、最先端の創薬や公衆衛生等の研究を主導できる優れた国際的競争力を養成します。

(博士後期課程)

- ・ 将来、研究、教育、行政等において指導的立場で国際的に活躍するために必要な、世界の異文化社会を俯瞰し、最先端の創薬や公衆衛生等の研究を主導できる優れた国際的競争力を養成します。
- ・ 優れた国際的競争力を生かして、高度グローバル人材として活躍できる資質・能力を養成します。

○高度なデザイン力

(博士前期課程)

- ・ ローカル及びグローバルな薬学的課題を深く探求し、協調的かつ主導的にその解決策を見出すことができ、さらにその高度化を図ることができる資質・能力を養成します。

(博士後期課程)

- ・ ローカル及びグローバルな薬学的課題を深く探求し、協調的かつ主導的にその解決策を見出すことができ、さらにその高度化を図ることができる資質・能力を養成します。
- ・ ローカル及びグローバルな薬学的課題の解決策を指導的な立場で実践することができる資質・能力を養成します。

○独自の教育目標

- ・ 卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その研究成果を社会応用するための知のスキルである「社会実装力」を兼備した人材を養成します。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学および薬学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「生命科学の社会実装プログラム」では教育目標に定める人材を育成するため、所定期間在学し、必要な単位を修得のうえ、審査及び試験に合格し、次のとおり優れた知識と能力を身につけている学生に学位を授与します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

（博士前期課程）

- ・有機化学、生物化学、物理化学などの幅広く深い知識を基盤として、さらに生命科学、創薬科学、社会・環境衛生薬学等の薬学専門分野における卓越した「創薬基盤技術力」を身につけている。

（博士後期課程）

- ・有機化学、生物化学、物理化学などの幅広く深い知識を基盤として、さらに生命科学、創薬科学、社会・環境衛生薬学等の薬学専門分野における卓越した「創薬基盤技術力」を身につけ、創薬基礎研究者として次世代の「ものづくり（創薬）」を担うことができる。

○高度な教養

（博士前期課程）

- ・人類が直面する健康・福祉・医療に関わる地球規模課題問題の解決に向けて、主導的かつ意欲的に取り組むことが出来る薬学領域の深い知識と複眼的・俯瞰的な思考力を身につけている。
- ・創造性あふれる豊かな人間性と卓越したリーダーシップ、強い使命感、優れた倫理観を身につけている。

（博士後期課程）

- ・人類が直面する健康・福祉・医療に関わる地球規模課題問題の解決に向けて、主導的かつ意欲的に取り組むことができる薬学領域の深い知識と複眼的・俯瞰的な思考力を身につけている。
- ・創造性あふれる豊かな人間性と卓越したリーダーシップ、課題問題の解決を主導する強い使命感、指導的研究者としての優れた倫理観を身につけている。
- ・地球規模課題の解決を指導的な立場で推進できる。

○高度な国際性

（博士前期課程）

- ・将来、研究、教育、行政等において指導的立場で国際的に活躍するために必要な、世界の異文化社会を俯瞰し、最先端の創薬や公衆衛生等の研究を主導できる優れた国際的競争力を身につけている。

(博士後期課程)

- ・ 将来、研究、教育、行政等において指導的立場で国際的に活躍するために必要な、世界の異文化社会を俯瞰し、最先端の創薬や公衆衛生等の研究を主導できる優れた国際的競争力を身につけている。
- ・ 優れた国際的競争力を生かして、高度グローバル人材として活躍できる。

○高度なデザイン力

(博士前期課程)

- ・ ローカル及びグローバルな薬学的課題を深く探求し、協調的かつ主導的にその解決策を見出すことができ、さらにその高度化を図ることができる。

(博士後期課程)

- ・ ローカル及びグローバルな薬学的課題を深く探求し、協調的かつ主導的にその解決策を見出すことができ、さらにその高度化を図ることができる。
- ・ ローカル及びグローバルな薬学的課題の解決策を指導的な立場で実践することができる。

○独自の学習目標

- ・ 卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その研究成果を社会応用するための知のスキルである「社会実装力」を身につけている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学および薬学研究科のカリキュラム・ポリシーのもと、学位プログラム「生命医科学の社会実装プログラム」では、ディプロマ・ポリシーに定める高度な知識・能力を習得するため、次のとおり教育課程を編成しています。

<教育課程編成の考え方>

ディプロマ・ポリシーに掲げた「最先端かつ高度な専門性と深い学識」、「高度な教養」、「高度な国際性」及び「高度なデザイン力」について、それぞれの学習目標の修得を目的とした科目、生命医科学の入門科目、研究実践力を強化する研究科横断科目及び研究成果を社会実装する科目・実践訓練科目を体系的に配当することにより教育課程の編成を行います。

それぞれの学習目標の修得については、「最先端かつ高度な専門性と深い学識」は、前期課程では講義科目、ゼミナール科目及び演習科目、後期課程では選択必修科目及び必修科目によって修得します。

「高度な教養」は、前期課程では講義科目、ゼミナール科目、演習科目及び高度教養教育科目、後期課程では選択必修科目、必修科目、選択科目によって修得します。

「高度な国際性」は、前期課程では講義科目、ゼミナール科目、演習科目及び高度国際性涵養教育科目、後期課程では選択必修科目、必修科目、選択科目によって修得します。特に「グローバル大学院薬学演習」は本資質・能力の修得に特化した科目として両課程に配当されています。

「高度なデザイン力」は、前期課程ではゼミナール科目、演習科目及び高度教養科目、後期課程では選択必修科目、必修科目及び選択科目によって修得します。

<学修内容及び学修方法>

- ・「最先端かつ高度な専門性と深い学識」、「高度な教養」、「高度な国際性」及び「高度なデザイン力」について、それぞれの学習目標の修得に係る科目については、学習目標への到達に適した学修方法として、PBL・アクティブラーニング、自己学修を取り入れた講義、演習や、実習、実験、研修等を行います。また、適宜こういった学修方法を組み合わせて授業を行います。
- ・生命医科学の基礎的知識や倫理的素養を学修するための講義を選択必修科目として学修します。
- ・異分野に対する理解を深め、研究実践力を強化する研究科横断型の演習及び実習、研究成果を社会実装するために必要となる知識を身につけるための演習を必修科目として学修します。
- ・研究成果を社会実装する実践訓練の実習を必修科目として学修します。

<学修成果の評価方法>

- ・全ての開講科目について、それぞれの学習目標の到達度を適正に評価するための方法及び基準を定め、これをシラバスに明記して学生に周知し、学修成果を厳格かつ公正に評価します。特に、知識（授業等）だけではなく大学院教育においてさらなる高度化を図るべき技能や思考

力・判断力・表現力、協働して学ぶ態度の修得・醸成を行う演習科目や実習科目等（研究指導）については、科目の学習目標や修得すべき資質・能力に合わせた適正な学修成果の評価を行います。

- ・プログラム教育については、進級審査を行い、研究実践力を有しているかを評価します。プログラム修了審査では研究実践力に加え、社会実装力を有しているかを評価します。

前期博士課程1年		前期博士課程2年	
I	II	III	IV

選択必修
科目
(1単位以上)

ゲノム医薬品学 特論	ゲノム医療体内 動態解析学特論	ゲノム医療評価 統計学特論
先進がん薬物療法 副作用学特論	先進緩和医療 薬物学特論	知的財産入門
医薬品臨床評価 特論	医薬品開発計画 特論	臨床試験デザイン 特論
臨床薬理学特論	医薬品開発規制 特論	医薬品ライフサイクル マネジメント特論
臨床研究倫理特論	医薬品開発計画 管理学特論	稀少疾患特論
臨床研究統計学 詳論	メディカル アフェアーズ特論	臨床試験データ 管理学特論
医薬品安全学特論	臨床ビッグデータ 活用学特論	薬品製造化学 特別講義
医薬合成化学 特別講義	発展途上国におけるグローバル 健康環境の課題と対策	グローバル大学院 薬学演習

ゼミナール科目必修

演習科目
選択必修
(3単位)

最先端かつ
高度な専門性
深い学識

高度な教養

高度な国際性

高度なデザイン

必修(4単位)
選択必修(4単位)

必修(12單位)

後期博士課程1年	後期博士課程2年	後期博士課程3年
----------	----------	----------

選択必修
科目
(6単位以上)

選択必修
科目
(6単位以上)

必修科目

選択科目

最先端かつ
高度な専門性と
深い学識

100

高度な教養

高度

國際性

高度なデ

インカ

卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その研究成果を社会応用するための知のスキルである「社会実装力」を身につけている。